



糸 きずな



令和8年2月 発行

2月3日は節分です。節分とは、本来「季節を分ける日」という意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日にあります。中でも、冬から春へ移り変わる立春の前日が一年のはじまりとされ、特に大切にされるようになりました。昔の人々は、季節が変わる時期には病気や災いが起こりやすいと考えていました。そこで、悪いものを追い払い、新しい一年を健やかに過ごせるようにと「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまく風習が生まれたそうです。豆には、“魔を滅する（まめ=魔滅）”という意味があり、豆をまくことで家の中の悪い気持ちや不安、よくない習慣を追い出すと考えられてきました。節分は、心の中の「追い出したいもの」を見つめ、明日からの自分に小さな力を与える日。そんな前向きな節目として、今も受け継がれています。



夢なき者は理想なし。理想なき者は信念なし。信念なき者は計画なし。計画なき者は実行なし。実行なき者は成果なし。成果なき者は幸福なし。ゆえに幸福を求むる者は夢かかるべからず

宮崎 学 先生

渋沢栄一さんの「夢七訓」です。「幸せな人生は夢を持つことから始まる」だから夢を持つことが大切であるということを述べています。これからの経験の中で「自分がやりたいこと」＝「夢」を見つけ、実現するために具体的な目標を立てて達成できるように努力をし続けてほしいです。そうすれば必ず幸せな人生が待っています。

今は10年前の結果である。

金武 伊織 先生

十数年ぶりに父と散歩をしたとき、ふと父が口にした言葉。漠然と”今の頑張りが未来を決める”と、どこか前ばかり見ていた私が、今の自分に至るまでの道のりを内省するきっかけとなった一言でもあり、不思議と今でも心に残っています。皆さんも、10年と言わずとも、3年前や5年前の選択や決断の結果が今の自分であるとしたら…と考えてみてはいかがでしょう。未来の解像度が、少しだけ上がるかもしれません。



みんなの悩みを相談できる機会を設けています。



【今後の予定】

2月 17日(火) 16:20~18:20

※予約制です。担任またはほっとプレイスに気軽に声をかけてください。